

黒岩祐治

明日を語るふ

1999 10/20 ~

学校が怖い
就職しない高校生

目次

スーパーニュースではないのですが	3
NHK クローズアップ現代「進学も就職もしない高校生」.	4
社会が悪いのでしょうか?	6
吉岡さん、ありがとうございました。.....	7

スーパーニュースではないのですが

投稿日 1999年10月20日(水)20時37分

投稿者 赤沼侃史 [G12233.dion.ne.jp]

ニュースアイで5時25分頃からの「[学校が怖い](#)」を見ました。その中で、[登校拒否](#)をする子供が問題なような、[学校に行けない](#)ことが問題なような説明がここかしこにみられました。それは登校拒否をしている子供達にとってはとても辛い表現です。

[登校拒否](#)をしている子供たちにとって、学校へ行きたくても学校へ行けない苦しさは、番組の中にも出ていましたからおわかりだと思います。学校へ行けないから、別な形の学校へ行かされる。番組の中の女の子のように、その別な形の学校へ行ける子供はまだ良いのですが、多くの登校拒否をしている子供達は、そのような学校へも恐くて行けません。そのような子供達に取って、学校神話から解放されることが、その子供なりに成長して大人となって社会へ出て行ける方法です。

そこで[登校拒否](#)の[仕組み](#)を正しく理解して欲しいと思います。[登校拒否](#)は子供のお医者さん嫌いと同じ仕組みで生じます。子供は元来お医者さんを嫌いではありません。ところが痛い注射をされると、条件反射で、そのすぐ近くにあるお医者さんを恐がるようになります。お医者さん自体が痛みを与えているわけではありません。新たにお医者さんを恐怖を生じる原因と学習したのです。もっと不安が強くなると白い服を着た人まで恐がるようになります。登校拒否では注射の痛みが学校内での嫌な事件です。

その結果[先生](#)や[学校](#)に対して[恐怖](#)を感じるようになります。もっと不安が強くなるとどんな学校でも、教科書や友達でも、恐怖を感じるようになります。ただ、お医者さん嫌いと登校拒否との違いはお医者さん嫌いは自分の経験から親に取って理解できるのに対して、[登校拒否](#)は自分が経験したことがないために、[親](#)に[理解できない](#)だけです。

[登校拒否](#)をする子供は[被害者](#)です。子供を傷つけたのは[学校](#)であり、その傷を悪化させたのは[親](#)です。登校拒否をしている子供は恐怖から自分を守るために登校拒否をしています。決して子供が悪いのではありません。学校に対して心に大きな傷を受けたために、学校へ行こうとしても行けなくなってしまいました。それなのに、大人が理解できない(学校が怖いと言う子供達の言葉や行動)と言う理由で、登校拒否をする子供が問題だと考えることは、大人の身勝手だと思います。学校へ行けないなら学校に代わる場所へ行けと言うのは、行ける子供にはかまわないことですが、心の傷が深すぎて行けない子供には大変に辛い言葉です。心の傷がうずき、もっと毎日が苦しくなります。一口に登校拒否と言っても、[休み休み学校へ行ける子供](#)から、[家庭内で暴れたり、部屋にひきこもったりして、動きの取れない子供](#)まで、いろいろです。ぜひ登校拒否を表面的に捕らえるのではなく、子供の心の中で何が起きているのかを考えた番組にして欲しいと思います。

NHK クローズアップ現代「進学も就職もしない高校生」

投稿日 1999年10月21日(木)15時16分

投稿者 赤沼侃史 [B134036.dion.ne.jp]

クローズアップ現代「進学も就職もしない高校生」で、高卒者の5人に1人就職も進学もしない高校生卒業生が出ていて、その数は13万人にのぼると報道されました。その番組の中での高校生の見方は、今の高校生の立場を無視した、一方的な大人からの考え方ではなかったかと思います。

番組の中で「若者達が社会から逃げだしている」と言う言葉が何度も使われました。その背景には今の会社社会が普通で、そこに入って行かない子供達に問題があると言う意味がありました。

しかし、今の若い人達は、自分達が普通で、今の会社社会が異常だから、若い人達は今の会社社会には入りたくない、そこには自分の生きる場所がない、と感じています。若い人達は逃げだしているとは考えて居ません。その証拠には若い人達はアルバイトと言う形で社会参加をしています。労働の割には報酬の少ない、不利な労働に従事しています。社会で要求されている、立派な社会参加だと思います。それが就職をした形での労働しか社会参加として認めない考え方の方が偏った考え方だと思います。私達大人は今の社会や会社に付いての硬直した考え方を変更する必要があります。

今までの社会はお金が全てでした。お金のために、会社社長は偉らかったのです。寅さんの話が何度も出てきました。汗水流して働く肉体労働者はお金のために汗水を流したのであり、それしかお金を得る方法が無かったからそれをしていました。それをしないと飢死にってしまうから、激しい肉体労働をしました。それをお金がある人が、美化していただけです。ところが現代は物質的に恵まれています。多くの若い人達はお金のために、いま食べる食事のために働く必要がなくなりました。今の若い人達の価値基準は、自分の存在価値です。自分の存在価値のためには、場合によっては激しい肉体労働でも、割の合わない仕事でも、してしまうのが現在の若い人の行動様式です。

では何故進学をしないのでしょうか？それは自分が経験してきた勉強の延長上に自分のあり方を見つけられないからです。決して勉強が嫌だからではなくて、大学の中に（高校の中にも）大学を卒業して大会社の中に、自分のあり方が認められないから、意欲が出ないのです。これも決して逃げだしているのではないのです。今までの大学のあり方、その先にある会社や社会のあり方に、興味が持てないから、自分のあり方と一致しないから、大学へ行こうとする意欲が出てこないだけです。

その様な高校生に、校長をはじめとして、卒業したら大学へ進学させたい、進学しないのなら就職をさせたいと指導する、学校側の対応が滑稽に感じられました。それは学校側の見かけ上の成果を出すことであり、決して教育結果を示した物ではない、子供を育てた結果ではない、事に気づいていないのがおかしな話です。

大学にしても会社にしても、社会にしても、今の若い人の判断基準は、行動基準は自分の**存在意義**であり、決して我慢して働いたり、お金のためではありません。自分の入って行ける社会を捜し求めています。自分の存在意義が見つければ、決して自分を受け入れてくれる社会ではなくても、今の若い人は努力して積極的に入って行こうとします。

ただし、**全ての若い人達にこの議論が当てはまるわけでは有りません**。中には自分の**存在意義**よりも、**お金と刹那の快樂**のために生きている**若者**も多いです。その事実は昔も今も変わりません。そして、これらの**刹那の快樂**に生きる**若者**と、**自分のあり方**を捜している**若者**と、その見かけ上の姿はほとんど変わりません。**両方**とも**大人**からみれば怠け者の**逃避者**のようにみえます。しかし彼等なの心の中でいかに生きるべきかを模索している若者達の現在を素直に認めてあげることが、彼らの将来を保証する**大人**の**態度**だと思います。決して彼らを問題視する必要は無いと思います。それよりも心配しなければならないのは、**自分達と違う生き方**をする人達、**自分達と違う価値判断**をする人達を、すぐに**異常だ問題だ**と考える大人達ではないでしょうか？

社会が悪いのでしょうか？

投稿日 1999年10月22日(金)01時05分

投稿者 吉岡 [kasm1DS20.iba.mesh.ad.jp]

赤沼さんの最近書かれた投稿を読ませていただきました。個人的には、同意しかねる事がほとんどでした。赤沼さんが書かれていることは、いわゆる「進歩的文化人」達が広めてきた典型的な考え方で、一般的にも正しいと信じられている考え方だと思いません。今の学校教育も少なからずこの流れに影響されていると思います。

しかし、赤沼さんが一貫して言われている、**子供は被害者で悪いのは学校と親**。高校を卒業して、進学も就職もしないのは会社社会が異常で、生きる場所がないから。勉強の延長線上に自分のあり方を見つけられないから。と言う様な、すべて本人以外の他者に責任を押し付ける様な考え方と言うのは私は間違っていると思います。

それに、**子供の価値基準、判断基準、行動基準を大人はもっと認め理解しろ**と言いますが、私は順番が**逆**だと思います。その社会の中で認めてもらい、理解してもらえような、価値基準、判断基準、行動基準、さらには、文化、習慣、常識を子供が身に付けられるように、**大人が子供に対して示す**のが先だと思います。それが子供を育て、教育すると言うことではないでしょうか。

その子供が成長し、大人達に教えられた事が違うんじゃないか、間違っているんじゃないか？と感じたら、自分の実力で間違いと感じたものを正し、まわりに認めさせていけばよいだけのことでしょう。赤沼さんが言うように何から何まで子供の良い様にしていたら、子供の成長を妨げるだけの様に思えます。

吉岡さん、ありがとうございました。

投稿日 1999年10月22日(金)12時35分

投稿者 赤沼侃史 [G8108.dion.ne.jp]

吉岡さん、私のMSGに対して、反論をありがとうございました。反論を頂いたために、今までの常識に反することをその答えとして述べさせていただけるので、変な表現ですが、お礼を申し上げたいと思います。吉岡さんがタイトルで書かれた**社会が悪い**かどうかについて、始めさせて下さい。

社会が悪いかどうかはその**個人個人の問題**だと思います。ある人にとっては今の社会が良いし、ある人については今の社会が悪いでしょう。個人がどう感じるかの問題で、現実には多くの子供達が社会や大学に期待していないことは事実です。**社会が悪い**と判断しているかどうかは、私もわかりません。一般論として論じるのは**政治**です。

ここでは今の社会で**傷ついている子供達**をいかに**守る**かの話を展開します。社会が大人の思いを子供に押しつけていることは今も昔も同じです。ところが今の子供は20 - 30年前の子供と比べて、傷つきやすくなっている、自我を持っていて、それを中心に生きている現実を、大人が無視していることではないかと思います。これは間違いない現実です。現実を無視した対応がとられることが多いので、傷つきやすくなっている子供達が傷ついていると私は分析しています。その際に、その傷つきやすくなった子供、自我を中心に生きている子供が問題だという議論が出てくると思います。

それなら、それは果たして**子供の責任**でしょうか？子供は好きこのんでこのような子供に成ったわけではないことは、理解していただけたと思います。子供達は成長の過程で必然的にそうなっただけです。

では次に子供を育てた**親が悪い**のでしょうか？確かに中には子供を虐待している親も居ます。しかし多くの場合現在日本の普通と考えられる親が一生懸命育てた子供が、傷つきやすく、自我を中心に生きる子供になっています。つまり**親にも責任は無い**と私は考えます。

では親の存在している**社会が悪い**かという、それは人それぞれで、とてもここでは結論は出せません。

次にこのような**子供達**を厳しく**躰け直す**という意見が世の中に横行しています。ところが自我と言う物は2, 3歳でできあがり、食物など物質に満ちた社会で育ち、最近の自主性を尊ぶ教育で育った子供達には、新たな躰(判断基準の変更)は子供の存在の否定と理解され(潜在意識で)子供の心の改良ではなく、子供の心を傷つけるという形で、作用してしまう(ここは**反論が多い**と思いますが、**間違いないと確信しています**)ことは多くの子供の例で分かります。

それ故にほとんどの子供では躰をし直すことがほとんど不可能に近いと言えると思い

ます。ここまで来ている子供達にはもう大人の思いで子供を動かすことが出来ないこととなります。この事実は多くの大人にとって、とても納得のいかない物です。現実を認められない物です。それだから子供をどうにかしようとして、子供を大人の思いで動かそうとして、子供を傷つけて、苦しむ子供を作りだしています(例外もありますが、多くの例でこのような関係になっています)。それならこの現実を認めて、子供の思いで大人の思うように動いて貰うようにするしかないと結論づけられます。

> その社会の中で認めてもらい、理解してもらえそうな、価値基準、判断基準、行動基準、さらには、文化、習慣、常識を子供が身に付けられるように、大人が子供に対して示すのが先だと思います。それが子供を育て、教育するということではないでしょうか。 <

吉岡さんをはじめとして、多くの人の、この意見で子供の問題が解決できれば、私はこの問題に関わり合いません。しかし実際に解決できないことを、多くの例で経験し、それでいて未だに多くの大人が自分の子供だけは違う、自分だけは子供を躱できると信じて対応し、また自分の意見が正論だと主張して、同じ失敗を繰り返している事実。そのために多くの子供達が苦しんでいる事実を見る限り、また、子供を認めることで、多くの意欲に富んだ子供達を社会に送り出したり、送り出しつつある対応の結果を、また、脳科学から言っても正しいと考えられる、私達の子供の現在を認める対応を、機会ある毎に述べて、一人でも多くの子供の立場に立った対応をしていただけのようにする事を、せざるを得ないのです。

> その子供が成長し、大人達に教えられた事が違うんじゃないか、間違っているんじゃないか?と感じたら、自分の実力で間違いと感じたものを正し、まわりに認めさせていけばよいだけのことでしょく <

大人では正論だと思います。大人から教わろうとする子供にも正論だと思います。ところが多くの子供では大人から教わろうとしない事実です。大人から教わらないで仲間から教わります。無理して教えようとする子供の子供の心が傷ついてしまう事実です。この現実を避けることが出来ないのです。本当に難しいのです。

結論的に言えば今の大人の大半は今の子供をどうすることもできない状態です。どうにもできないなら、今以上に悪くする物を取り除くだけで、後は子供を信じて待つだけしか、私には良い方法が見つかりません。そして今までの私の経験の範囲では、子供を信じて待つだけで、子供は子供なりに自制して、力強く成長しています。社会に出ていっています。それは私の期待とは違ってはいますが、間違いなくその子供なりに社会へ出て、社会人として活躍しています。かえって大人の願いをかなえてくれます。